

第4回 DIA Health Economics and Outcomes Research (HEOR) ワークショップ (旧 DIA HTAワークショップ)

「価値に基づく医療」のニューノーマル ～多様化する社会におけるBeyond ICERの可能性

2021年11月15日(月) 13:00～18:10
Web開催 (Zoom Webinar)

プログラム概要

新型コロナウイルスは、我々の生活様式や価値観を大きく変えました。例えばヘルスケアでは、感染防止を背景として浸透したオンライン診療が、医療サービス提供の効率化にも寄与しています。また、新型コロナウイルスに対するワクチンの開発や接種状況が連日報道され、大きな注目を集めています。これらの事例は、感染リスクを低下させて「医療機関に行かなくてもよい価値」、あるいは、重篤化を抑制して「医療リソースの負荷を減らす価値」を社会が認識したものといえるのではないのでしょうか。

医療の価値を評価する仕組みとして、2019年から日本でも医療技術評価 (HTA) が正式導入されました。HTAの枠組みは、新しい医療技術が既存治療に比べて費用増加に見合う価値があるかを増分費用効果比 (ICER) で評価することを原則としています。しかしICERだけでは労働生産性の改善や介護者 (家族) の負担の軽減などの医療技術の価値が十分に反映されるとはいえません。さらに海外では、医師の裁量で使用できる薬が、有効性、安全性、経済性などの観点から作成されたフォーミュラリ (採用医薬品リスト) により制限されるケースがあります。日本でも地域や医療機関でフォーミュラリの導入が始まっており、診療報酬とどのように関連させるかに注目が集まっています。

一方、近年では「患者の参画 (Patient engagementやPatient and public involvement)」が重要といわれています。しかし、実際のところどこまで患者の声が医療に反映されているのでしょうか?例えば、がんなどの患者にとっては、有効性が高く、確実な治療が好まれやすいことが知られています。そういった点では、個々の遺伝子に基づいて実施される個別化医療 (プレジジョン・メディスン) は、治療効果の予見性を高めることができます。ただし、100%の患者に効果があるわけではなく、最先端の検査や治療費は高額になりやすいことから、日本の国民皆保険をどのように持続させていくかについての議論も重要です。

そこで今回、DIAでは、本トピックを議論する場として、第4回DIA HEORワークショップを企画しました。医薬品・医療機器企業のHEOR、臨床開発、薬事、マーケティングや薬価担当の方々など、多くの方に共通したこの重要な課題について、皆様のご参加をお待ちしております。

参加対象者

このプログラムは下記に従事されている方に特に有益です。

製薬企業・医療機器企業 中央官庁・規制当局

- ・メディカルアフェアーズ担当者
 - ・アウトカム研究担当者
 - ・薬価担当者
 - ・開発担当者
 - ・薬事担当者
 - ・安全性担当者
 - ・経営戦略担当者
- 研究者
- ・医療経済学者
 - ・疫学研究者
 - ・臨床研究者

後援: ISPOR日本部会

講演及びディスカッションはすべて日本語資料及び日本語のみで行い、通訳はつきません。



DIA Japan
Nihonbashi Life Science Building 6F,
2-3-11 Nihonbashihoncho, Chuo-ku, Tokyo 103-0023 Japan
Tel: +81.3.6214.0574 Fax: +81.3.3278.1313 Email: Japan@DIAglobal.org

Drug Information Association

Global Center: Washington, DC | Americas | Europe, Middle East & Africa | China | Japan | India



プログラム委員長

ルンドベック・ジャパン株式会社

小串 健太郎

プログラム委員

日本イーライリリー株式会社

荒西 利彦

塩野義製薬株式会社

廣居 伸蔵

バイエル薬品株式会社

中村 祐輔

中外製薬株式会社

大野 慎也

ノバルティスファーマ株式会社

宇田 晃仁

慶應義塾大学

漆原 尚巳

塩野義製薬株式会社

吉田 真奈美

プログラムアドバイザー

一般財団法人 機械振興協会

昌子 久仁子

※会の終了後も講演動画をWEB上で
ご視聴いただけます。

(公開後2週間予定)

DIA volunteers, members, and staff provide a comprehensive catalogue of conferences, workshops, training courses, scientific publications, and educational materials, throughout the year, all around the world.

DIAglobal.org

13:00-13:15 開会の挨拶

一般社団法人 ディー・アイ・エー・ジャパン

西條 一

プログラム委員長/ルンドベック・ジャパン株式会社

小串 健太郎

※WEB講演のため、講演時間が多少前後する可能性があります。

13:15-14:00 総論

座長

ルンドベック・ジャパン株式会社

小串 健太郎

費用対効果評価≠価値評価—くすりのValueとは？

横浜市立大学/東京大学大学院

五十嵐 中

14:00-14:15 ショートブレイク**14:15-15:15 講演の部**

座長

ルンドベック・ジャパン株式会社

小串 健太郎

14:15-14:45**成人ワクチンから考察する薬の価値の共有認識**

長崎大学

森本 浩之輔

ワクチンの定期接種は公衆衛生上の利益を求める施策だが、ワクチンの価値に対する共有認識を社会全体として保持するのは難しい。特に高齢者に対する肺炎球菌ワクチンは、被接種者が期待するほどの効果は望めず、臨床において被接種者にその公衆衛生上の利益と個人の利益を並列に説明するのは困難である。一方定期接種は、接種率の向上によってこそ、その公衆衛生上の価値が上がるというジレンマを抱えている。薬の正確な価値とは何か、私たち医師はそれをどれだけ理解しているのか、そしてそれを患者とはどれだけ共有すべきで共有するには何が必要なのか、ワクチンの臨床的な事例から紐解き帰納法的に議論したい。

14:45-15:15**国民として、医療消費者として考える、治療の『価値』の見える化について**

Cancer Solutions

桜井 なおみ

臨床研究において重視される治療の価値評価と、患者が考える価値評価との間には違いがある。価値の評価方法は多様であり、それらの中には、定量化できるものと、定量化し難いものが存在している。高額な薬剤が登場して以来、こうした治療の『価値』の可視化が社会からも問われるようになってきた。本セッションでは、現在ある『価値』の可視化プロセスにおいて、患者が何を感じているのかについて報告をしたい。

第6回DIA再生医療製品・遺伝子治療用製品シンポジウム

医療現場で使いこなせる再生・遺伝子治療に向けて
～産業化ステージでの課題を解決する～



Register
Today!

2021年12月13日(月)～14日(火)
Web開催 (Zoom Webinar)

DIA

※WEB講演のため、講演時間が多少前後する可能性があります。

15:15-16:15 講演の部 (続き)

15:15-15:45

患者中心のがん医療とは—がん医療における「治療の価値」の対話の課題

国立国際医療センター

清水 千佳子

がん治療は、効果の不確実性が高い一方、副作用や合併症による身体的負担や生活の質に与える影響が大きい。また、希少がんにおいては、標準治療が確立しておらず、研究的な治療が唯一の治療選択肢となる場合もある。治療選択肢の増加、患者の医療情報へのアクセス向上、高額な分子標的薬の臨床導入を背景に、近年のがん医療では、患者本位の、患者との「治療の価値」についての対話を通じた協働意思決定 (shared decision making) を行うことが推奨されるようになった。しかし医師と患者の間には情報や経験に圧倒的な差があり、価値観も個人、立場によって異なるため、shared decision makingの実践は必ずしも容易ではない。ここでは、患者中心のがん医療を実現するために何が欠け、何が求められているのか、改めて考えてみたい。

15:45-16:15

フォーミュラリーの基本的な考え方と導入事例

浜松医科大学

川上 純一

フォーミュラリーとは、標準的な医薬品選択や使用指針に基づく採用医薬品リストとその関連情報である。有効性・安全性・経済性やニーズもふまえて関係する医師・薬剤師等が協働して作成し、必要に応じて更新するのが一般的である。フォーミュラリーについては経済性のみに基づいた医薬品選択 (例: 後発医薬品の使用促進、医薬経営上の薬剤費管理) や医師への処方制限と誤解されることや、従来からの病院での医薬品採用と同様に捉えられることもある。フォーミュラリーは医師が処方薬を選択する際の支援ツールであり、患者や医療機関・地域にとって有益な医療全体の最適化を目指している。講演ではその基本的な考え方と導入事例について概説する。

16:15-16:30 ショートブレイク

16:30-18:00 パネルディスカッション

座長

慶應義塾大学

漆原 尚巳

塩野義製薬株式会社

廣居 伸蔵

パネリスト

本ワークショップの全ての講演者および

バイエル薬品株式会社

相徳 泰子

18:00-18:10 閉会の挨拶

慶應義塾大学

漆原 尚巳

一般財団法人 機械振興協会

昌子 久仁子

DIAのプログラムにて発表される内容は発表者本人の見解であり、所属する組織あるいはDIAのものとは限りません。
プログラム及び講演者は予告なく変更される場合があります。
書面による事前の合意なく、DIAのプログラムの情報を録音もしくは撮影することは、いかなる形態であっても禁止されています。

会議参加申込書

一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン

Fax:03-3278-1313

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11

日本橋ライフサイエンスビルディング6F

Tel: 03-6214-0574

第4回DIA Health Economics and Outcomes Research (HEOR) ワークショップ [カンファレンスID #21310]

2021年11月15日(月) | Zoom Webinarによる開催

◆ 参加申込方法

DIAウェブサイト(www.DIAglobal.org)よりお申し込み頂くか、この申込書に必要な事項をご記入の上、FAXまたはメール添付 Japan@DIAglobal.org にてお申し込みください。受理後、10営業日以内にEメールにて申込受領書を送付いたします。

◆ 参加費用 (該当する口にチェックしてください)

会員資格が失効している方および非会員の方は、会員登録(更新)することにより、会員価格にてご参加いただけます。会員資格はお支払いいただいてから翌年同月末まで1年間有効です。DIA各種機関紙の入手、DIAウェブサイトの会員専用ページへのアクセス等、種々の特典も得られます。不明な点がございましたら、ディー・アイ・エー・ジャパンまでお問い合わせください。

①年会費

現在会員でない方で、会員登録をされる場合は希望する年会費の欄に印を入れてください。

*参加費の早期割引価格は現会員の方または会員登録と同時に申し込みされる方のみに適用されます。会員資格が失効している方および非会員の方は、ぜひこの機会にぜひご登録ください。

**アカデミア会員資格にお申し込みの方は、本申込書をディー・アイ・エー・ジャパンまでFAXもしくはメールにてお送りください。

Membership (有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 20,000 (税抜)	¥ 22,000 (税込)
2-Year Membership (有効期間:2年間/10%割引)	<input type="checkbox"/>	¥ 36,000 (税抜)	¥ 39,600 (税込)
Academia Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 13,800 (税抜)	¥ 15,180 (税込)
Academia 2-Year Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:2年間/10%割引)	<input type="checkbox"/>	¥ 24,800 (税抜)	¥ 27,280 (税込)

②参加費

所属カテゴリーと会員資格の有無により異なりますので、該当欄に印を入れてください。

会 員	一般	早期割引:2021年11月2日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 14,500 (税抜)	¥ 15,950 (税込)
		2021年11月3日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 16,000 (税抜)	¥ 17,600 (税込)
非 会 員	政府関係 非営利団体 大学関係 医療従事者	早期割引:2021年11月2日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 6,800 (税抜)	¥ 7,480 (税込)
		2021年11月3日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 7,500 (税抜)	¥ 8,250 (税込)
非 会 員	一般	<input type="checkbox"/>	¥ 20,500 (税抜)	¥ 22,550 (税込)	
	政府関係/非営利団体	<input type="checkbox"/>	¥ 12,500 (税抜)	¥ 13,750 (税込)	
	大学関係/医療従事者	<input type="checkbox"/>	¥ 9,000 (税抜)	¥ 9,900 (税込)	

③合計金額 (①+②):

合計 _____ 円

*最終確定金額は、DIA Japanからお送りする受領書メールにてご確認ください。

※ ISPOR日本部会の会員の方は、会員価格にてご参加いただけます。該当する場合、にチェックして下さい。

ISPOR日本部会会員

◆ お支払方法

ご希望の支払方法にチェックを入れてください。

銀行振込 請求書を送付しますので、その案内に従って振り込み手続きを行ってください。

クレジットカード 使用可能クレジットカード(いずれか1つにチェック) VISA MasterCard JCB

カード有効期限(mm/yy) _____ カード番号 _____

カードご名義 _____ ご署名 _____

ご入金の際は、ご依頼人の欄に必ず参加者名または請求書番号を記載してください。同一会社で複数名の参加費を同時に振り込まれる場合は、書面にて参加者名と振込日
をディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください。振込に関する手数料は、振込人負担でお願いいたします。

アルファベット(英語)でご記入ください

Last Name (姓) Dr. Mr. Ms. First name (名) _____ Company _____

Job Title _____ Department _____

Address _____ City _____ State _____ Zip/Postal _____ Country _____

Email (必須) _____ Phone Number (必須) _____ Fax Number _____

* 参加のキャンセルは、お申し込み受理後、会期28日前にあたる2021年10月18日までは手数料として一般会員・非会員とも10,000円、政府/大学関係者については会員・非会員とも5,000円を申し受けます。それ以降のキャンセルについては参加費全額を申し受けますのでご注意ください。同一会社からの参加変更は可能ですが、その際はお早めにディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください(会員資格の譲渡はできませんので、非会員としての参加費を申し受ける場合があります。)参加をキャンセルされる際には、必ず書面にてディー・アイ・エー・ジャパンまでご連絡願います。

* DIA主催の会議には、必ず登録者ご本人にご参加いただくよう、お願いしております。必要に応じて、スタッフが本人確認をさせていただく場合がございます。

* 本会議では、DIAの宣伝活動に使用する目的で、開催期間中に参加者を含むワークショップ内の映像・写真・動画を撮影することがあります。本会議の参加者は、DIAが記録した映像・写真等について、DIAの宣伝資料、出版物及びインターネット等への掲載その他一切の利用に係る権利(肖像権、パブリシティ権等を含みます)はDIAに帰属することを認め、DIAが無償で任意に利用できることを承諾するものとします。

【DIAが取り扱う個人情報について】お申し込みいただいた個人情報はDIAからの会議案内送付等の目的に使用させていただきます。また当日は、ご参加いただく皆様の会社名または組織名とご氏名を記載したリストを参加者・講演者・関係者(プログラム委員)に限り配布する場合があります。本申込書の提出をもって以上の個人情報のお取り扱いにご同意いただいたものと解釈いたしますが、ご同意いただけない場合はDIA Japanまでご連絡ください。